

# 商業（商品開発）

履修単位	2単位	学年	3年	学科	商業科	コース	地域貢献コース	区分	必修・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">選択</span>
------	-----	----	----	----	-----	-----	---------	----	--

## 1 学習内容と学習目標

商品開発に関する知識と技術を習得し、顧客満足を実現することの重要性について理解する。商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。また学習とともに、地域貢献活動や販売活動、調査学習等の実習を行い、ビジネス活動における実践力を身に付ける。

## 2 教材等

教科書：商品開発（実教出版）  
 補助教材：商品開発 問題集（実教出版）

## 3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
一 学 期	第4章 商品開発とデザイン 1節 デザインの基礎	4	○商品開発においてデザインの役割や種類、商品開発と関わりの深いデザインについて理解する。 ○商品開発におけるデザインの基本ルールや制作技法を理解する。	中 間 考 査
	2節 パッケージデザイン 3節 グラフィックデザイン 実習：パッケージデザインの作成 広告の作成	5	○パッケージデザインの役割と種類、制作上の重要点について理解する。また作成の技法を学び、実習を行う。 ○グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解する。またその効果について考察し、作成の技法を学ぶ。	
	第5章 商品開発と知的財産権 1節 知的財産権の内容	6	○知的財産権の侵害に関する具体的な事例について考察する。 ○特許権、実用新案権、意匠権、著作権、商標権の概要とビジネスにおける活用の意義を理解する。 ○不正競争防止法の目的について認識し、知的財産の権利化の意義について理解する。	期 末 考 査
	2節 知的財産権の取得	7	○特許権、実用新案権、意匠権、商標権について、取得手続きの概要を理解する。	
《課題・提出等》 ノート、宅習課題、実習の制作物、考査訂正 等				
《第1学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
二 学 期	3節 知的財産権の活用 実習：知的財産権の調査と商標登録の検討	9	○取得した知的財産権について、独占的販売やライセンス取得など、その活用方法について理解する。 ○知的財産権の調査と商標登録の検討に関する実習を行う。	中 間 考 査
	第6章 商品流通と流通を支える活動 1節 流通の仕組みと市場	10	○流通の役割、流通の仕組みとその変化、および流通系列化について理解する。 ○流通の仕組みの変化および生産者の流通戦略について理解する。	
	2節 売買業者の商品計画 実習：プライベートブランド商品の調査	11	○卸売業と小売業における商品計画の重要性について理解する。 ○プライベートブランド商品の開発の意義について理解する。	期 末 考 査
	3節 流通手段の多様化	12	○店舗を持たない流通手段である無店舗販売について理解する。 ○商品の特性に応じた流通手段の効率的な活用について理解する。	
《課題・提出等》 ノート、宅習課題、実習の制作物、考査訂正 等				
《第2学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				

三 学 期	4節 物流と流通を支えるその他の活動	1	○物流の働きと仕組み, また流通の支援機能である金融・保険の働きと仕組み, および情報システムの概要について理解する。 ○2年間の商品開発学習について振り返り, 学習のまとめをおこなう。	卒業 考 査	
	《課題・提出等》 ノート, 宅習課題, 実習の制作物, 考査訂正 等				
	《第3学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題提出状況, 実習への取組状況を総合的に評価する。				
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は, 後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し, 年間の学習成績として評価します。					

#### 4 評価の観点と評価方法

学習状況は, 「関心・意欲・態度」, 「思考・判断・表現」, 「技能」, 「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	商品開発に関心を持って主体的に学び, 実習において積極的で実践的な態度が身に付いたか。	授業態度・課題提出・実習への取組
思考・判断・表現	商品開発に関する学習成果を基に, 実習への効果的な活用方法を考え表現する創造的な能力が身に付いたか。	実習への取組・授業態度・考査
技能	商品開発を立案・実行するための手法を正しく理解し, 効果的で適切に活用することができたか。	実習への取組・考査
知識・理解	商品開発に関する基礎的な知識を身に付け, その意義や役割について理解しているか。	考査・実習への取組

#### 5 授業を受ける際の注意事項

- ・科目「商品開発」は, 2年次からの継続履修である。
- ・学習とともに, 地域貢献活動や販売活動, 調査学習等の実習を行う。
- ・このシラバスは, あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。